

【福岡県人権擁護委員連合会】

令和6年5月22日（水）から同年7月12日（金）まで、福岡県内の小学校20校で、プロバスケットボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」と連携した人権スポーツ教室を実施しました。

人権擁護委員が「スポーツと人権」をテーマに、スポーツの世界でも人権が守られることが大切だと話すと、生徒からは「これからは嫌なことは嫌と言うようにする」という感想が聞かれました。

ライジングゼファーフクオカの選手と一緒に、パスやシュートの練習、ミニゲームも行いました。どうしたらうまくできるか周りの友達と話し合ったり、お互いを応援したりすることで、生徒たちは思いやりの大切さを実感していました。

選手への質問コーナーでは、生徒たちがみんな手を挙げ、たくさん質問をしていました。どうしたらバスケットボールが上手になるかという質問に、選手が「あきらめないことが大事」と答えると、生徒たちは深くうなずいていました。

